令和８年１０月２２日
Ｒ８④総合計画推進委員会
資料２

各事業の委員会総合評価について

１．令和8年度評価事業一覧

No.	まちづくりの基本方針	事業名	担当課	1次評価（達成度評価）	2次評価（委員会総合評価）
1	人・未来を育むまちづくり	スクールサポートスタッフ配置事業	学校教育課	B	**B**
2	人・未来を育むまちづくり	産後ケア事業	こども家庭課	A	**A**
3	魅力あふれるまちづくり	ミライ創ろまい課プロジェクト推進事業	シティプロモーション課	C	**B**
4	魅力あふれるまちづくり	地域魅力発信事業	シティプロモーション課	C	**C**
5	魅力あふれるまちづくり	瑞浪駅周辺再開発事業（駅北地区）	シティプロジェクト推進課	A	**B**
6	生涯活躍のまちづくり	老人憩いの家管理経費（指定管理）	高齢福祉課	C	**C**
7	生涯活躍のまちづくり	東濃中部病院事務組合負担事業（病院事業）	健康づくり課	―	**B**
8	活気みなぎるまちづくり	中小企業販路開拓支援事業	商工観光課	C	**C**
9	活気みなぎるまちづくり	インバウンド観光コンテンツ造成事業	商工観光課	A	**B**
10	活気みなぎるまちづくり	農産物等直売所管理経費（指定管理）	農林課	A	**A**
11	持続可能なまちづくり	デマンド型交通運行事業	商工観光課	B	**C**
12	持続可能なまちづくり	エネルギー利用最適化事業	環境課	D	**C**

令和８年１０月２２日
Ｒ８④総合計画推進委員会
資料２

２．１次評価、２次評価　評価基準

①１次評価

Ａ…目標値を達成　　Ｂ…目標値の7割以上達成　　Ｃ…目標値の5割以上達成
Ｄ…目標値の3割以上達成　　Ｅ…目標値の3割未満の達成

②２次評価

（１）項目別評価

評価項目	A（25点）	B（20点）	C（15点）	D（10点）	E（5点）
達成度	目標を大きく上回る成果があり、高く評価できる。	おおむね目標を達成し、一定の成果が確認できる。	一部の目標は達成したが、成果にはバラつきがある。	成果が乏しく、目標が達成できていない。	成果が見られず、事業の目的が果たされていない。
効率性	実施方法に無駄がなく、段取りや手順が非常に工夫されている。	全体としてよく考えられており、概ね効率的に実施されている。	一定の工夫は見られるが、非効率な部分も一部残っている。	実施の段取りや手法に無理・無駄があり、再検討の余地がある。	非効率で場当たり的な実施に見える。方法の見直しが強く求められる。
必要性	高い市民ニーズがあり、今後も不可欠な事業。	一定のニーズがあり、当面は継続の必要性がある。	限定的なニーズだが、部分的に必要性が認められる。	必要性が薄れており、見直し・休止の検討が必要。	必要性が見られず、廃止が妥当と考えられる。
明瞭性	誰にでも分かりやすく、説明も優れている。	説明内容は概ね明瞭で、市民の理解が得やすい。	一部分かりにくい点があるが、理解可能な範囲。	内容や目的が不明瞭で、市民に伝わりにくい。	非常に分かりにくく、市民への説明責任を果たせていない。

（２）個人総合評価

総合得点	評価	評価内容
100～90点	A	非常に優れており、他事業の模範となる水準
89～75点	B	十分な成果と必要性があり、継続が妥当
74～60点	C	概ね良好だが、部分的に改善の余地あり
59～40点	D	成果・必要性に課題があり、改善が必要
39点～	E	効果・必要性が乏しく、廃止・統合も検討対象

（３）委員会総合評価

総合得点	評価	評価内容
900～810点	A	個人総合評価と同様
809～675点	B	
674～540点	C	
539～360点	D	
359点～	E	

令和８年１０月２２日
Ｒ８④総合計画推進委員会
資料２

令和8年度瑞浪市総合計画推進委員会　事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
１．人・未来を育むまちづくり	スクールサポートスタッフ配置事業	学校教育課

１次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（%）	実績値（%）
B	１ヶ月の時間外勤務時間が45時間以下の教員の割合	76	71.6

２次評価

委員会総合評価
B

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	B	達	B	学校の規模によって業務量やスタッフのニーズが異なるため、一律の配置ではなく学校ごとの実情に応じた人材配置・業務切り分けの最適化が求められ、又、優秀なスタッフの確保・定着も必要と感じます。
		効	B	
		必	A	
		明	B	
－	B	達	B	当事業は、スクールサポートスタッフの配置により、先生が授業準備や児童生徒との関わる時間の増加につながり、学校現場の働き方改革に貢献していると思います。教材印刷やデータ入力補助など、先生以外でも対応可能な業務を分担することで、教育活動の質の向上にもつながっていると思います。また、教員不足や業務の多様化が進む中、学校運営を支える重要な役割を担っており、現場からのニーズも高く、今後も学校の実情に応じた配置と活用を進めることで、更なる効果の発揮を期待します。
		効	B	
		必	B	
		明	B	
－	B	達	B	地域の子どもたちが、健全に安心して学ぶ環境を整えることが将来を担う人材の育成につながると考えます。そのために、学校の先生方が、安心して授業や子どもと接することに専念できる環境が重要です。このスクールサポートスタッフは、先生方をサポートすることに留まらず、子どもたちの学びにも大きく影響する重要な役割を果たしている方々です。今後より一層、サポートスタッフを拡充するためにも、多様な世代（大学生などを含む）からの支援を視野にいれながら予算の確保に努めていただきたいと思います。
		効	B	
		必	A	
		明	B	
－	B	達	B	教育現場について考えていただきありがとうございます。教育は家事と同じように見えない仕事が多くあります。地域、家庭、学校で連携した教育の実現に期待します。
		効	B	
		必	A	
		明	B	
－	B	達	B	目標値は下回ったものの当該事業開始以前と比較すると大幅に改善されており一定の評価はできると思います。なお、目標値の設定については予算次第のところはありますが他市町の実績等を踏まえた検討を期待します。効率性については前年度投入コストと実績の推移や比較対象がなく評価がしずらい面があるものと思われます。生徒への物心両面での教育の充実や将来的な教員の確保等のため必要性は認められ、事業内容も分かり易く市民の理解を得やすいものと判断します。
		効	C	
		必	B	
		明	B	

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	B	達	B	公立小中学校の教員の皆さんには、元々「給特法」という半世紀以上前にできた法律に縛られている部分があります。時間外勤務の時間数の報告も校長にさせているのであれば、真実の報告かどうかわかりません。現場の教員の皆さんに直接出してもらうような無記名アンケートとか、何を求めているかの調査を現場の教員に対して行う必要があると思います。
		効	B	
		必	B	
		明	B	
－	B	達	B	サポートスタッフの確保が難しいことが要因なのか、支援体制が十分でないことが要因なのか、時間外勤務の割合が目標に達していない背景がやや不明確である。 また、実績値からは時間外勤務が減少しているようにも見受けられるが、割合のみでは、支援を必要とする教員に対してサポートスタッフが十分に機能しているか判断しにくい。時間外勤務の実態や支援の効果をより適切に把握できる指標の設定と、要因分析を期待したい。
		効	B	
		必	A	
		明	C	
－	B	達	B	事業自体の必要性は高いと思いますが、教員の事務作業自体を少なくする方法も検討する必要があると思います。また、スタッフ側のニーズに合うような条件を設定する必要があると思います。
		効	C	
		必	B	
		明	B	
－	B	達	B	「教員を笑顔に」 児童、生徒及び親たちにとっても望ましい姿です。スタッフが増える働き方の選択が多いといいと思います。
		効	B	
		必	A	
		明	B	

令和８年１０月２２日
Ｒ８④総合計画推進委員会
資料２

令和8年度瑞浪市総合計画推進委員会　事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
１．人・未来を育むまちづくり	産後ケア事業	こども家庭課

１次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（%）	実績値（%）
A	利用希望者の利用率	100	100

２次評価

委員会総合評価
A

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	A	達	A	利用者の増加は顕著である事業であり、受け入れ先となる医療機関等との調整作業や、申請・予約・空き状況確認の事務負担が増大している点が課題であり、その早期解決にDX化の推進を速やかに推進される事を望みます。
		効	B	
		必	A	
		明	A	
－	B	達	B	当事業は、母親の心身の回復支援と児童虐待予防の観点から重要な事業であるともいます。利用料金も比較的低く抑えられており、市民の経済的負担軽減にも寄与していると思います。一方で、制度の認知度向上と利用促進が課題であると思われます。また、潜在的な支援対象者に十分利用が行き届いているかの検証が必要であり、利用実績や利用者満足度を継続的に分析しながら制度の充実を図ることが望まれます。特に訪問型支援の拡充や妊娠期からの積極的な周知により、さらなる事業効果を期待します。
		効	B	
		必	B	
		明	B	
－	A	達	A	子育て支援の取り組みは、将来の地域を支えることにもつながり、とても重要であると考えます。瑞浪市民が市内もしくは近隣地域で安心して出産できる環境を整えることで、安心安全で暮らしやすいまちとなることを期待します。また、評価指標について、希望者だけでなはく、希望できないかた、もしくは希望したいけど支援を受けられない人たちが一定数いると思われます。このような方々の実態を把握し、新たな支援策につなげていただくことを期待します。
		効	B	
		必	A	
		明	B	
－	A	達	B	子育て支援の充実は、安心できる町づくりの根幹であり、人口流入にも期待できます。より充実した子育て支援へ発展させてください。
		効	A	
		必	A	
		明	B	
－	B	達	B	目標達成と支援利用者増加は評価できるものの支援を希望としている方へ支援であり達成はしやすいもの思われます。一方で、出産者全体に占める利用者割合等を踏まえれば目標値の設定には検討の余地があるものと思われます。子育支援の必要性は議論の余地のないものであり、事業内容も分かり易く市民の理解を得やすいものと判断します。
		効	B	
		必	A	
		明	B	

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	A	達	A	事業の内容としては素晴らしいことなので、利用者数（希望者数）が増えるような努力をお願いいたします。また、出生後１年以上経った母子に対しての追跡調査なり、追加での支援体制はどのようになっているのでしょうか？
		効	A	
		必	A	
		明	A	
－	A	達	A	子育て家庭への支援として重要な事業であるため、今後も継続して取り組んでいただきたい。 利用規定上、支援を必要としながらも利用をためらったり、利用できなかったりする方にも支援が届くよう、制度や運用の見直しを含めた取り組みを期待したい。
		効	A	
		必	A	
		明	B	
－	A	達	A	各型のニーズはどのような感じでしょうか。予算増額しても、ニーズに答えて行く必要はあると思います。DX化も必要でしょう。
		効	B	
		必	A	
		明	A	
－	B	達	B	おはずかしながら知らない事業でした。安心して、出産、子育てできるとアピールできます。利用したくてもできない人の状況も知りたいです。
		効	B	
		必	B	
		明	B	

令和８年１０月２２日
Ｒ８④総合計画推進委員会
資料２

令和8年度瑞浪市総合計画推進委員会　事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
２．魅力あふれるまちづくり	ミライ創ろまい課プロジェクト推進事業	シティプロモーション課

１次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（mGAP）	実績値（mGAP）
C	参加者のmGAP（修正地域参画総量指数）の上昇	200	126

２次評価

委員会総合評価
B

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	B	達	C	提案された企画の実現に向けた関係課との連携体制の強化や、活動を終えたOB・OGが次の世代のメンバーとして関われる持続的なコミュニティ・人材育成の構築を希望し、コストパフォーマンスを維持しながら事業の実現力に注力して継続して頂きたいです。
		効	B	
		必	A	
		明	B	
－	C	達	C	当事業は、市民協働による地域課題解決やまちづくりを推進する上で重要な役割を果たしていると思います。行政だけでは生み出せない発想やネットワークを活用できる点は大きな強みである思います。一方で事業効果が見えにくく、事業終了後に自立して継続している取組、具体的な地域課題の解決事例や市民の満足度向上等の具体的な成果指標を設定する必要があると思います。事業の効果を客観的に評価できる仕組みを構築し、行政が投入した人的・財政的コストに見合う効果を検証できると良いと思います。
		効	C	
		必	B	
		明	C	
－	A	達	A	地域の将来を担う高校生や大学生が、地域のために地域で活動する取り組みは、とても素晴らしい事業だと思います。また継続して実施されていることも高く評価できます。今後も、地域の高校等と連携しながら、多くの若い人たちが関わりたいと思う事業を継続して展開していただきたいと思います。また、評価指標についても、どなたでも分かりやすく、説明しやすい指標を使ってはいかがでしょうか。参加者の主観だけではなく、第3者からの視点の評価を取り入れながら、参加者の意識や行動の変化を測ってみてはいかがでしょうか。
		効	B	
		必	A	
		明	B	
－	B	達	A	高校生が大勢お世話になっております。 高校生にとって、大きな学びの場となっており、感謝しております。 市民のニーズにこたえられているかという部分では成果は高くないかもしれませんが、失敗も勉強という高校生の視点からでは学ぶことが多くあります。 ミライ創ろまい課の力で地域の活性化は難しいかもしれませんが、高校生の学びに行政が協力してくださるという産学官連携の事業として継続を期待します。
		効	B	
		必	B	
		明	C	
－	C	達	C	目標値は下回ったものの、瑞浪市の将来を担う若者のシビックプライドを高める観点では必要性はあるものと思われます。効率性については検討する材料が乏しく評価しずらいが、事業内容から市民の理解も得やすいものと判断します。
		効	C	
		必	B	
		明	B	

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	B	達	C	mGAP指数だけの評価指数では測り切れない部分もあると思います。事業の必要性としては今後の瑞浪市の進む方向としては改善の余地はあると思いますので、継続して行っていただきたい。
		効	B	
		必	A	
		明	C	
－	B	達	C	目標指標が明瞭でなく、生徒アンケートのみでは関与度による数値のブレが生じやすい。関係者等の意見も反映させるなど、より客観性の高い測定手法へ見直す必要がある。
		効	B	
		必	A	
		明	B	
－	B	達	B	万能だれなどの特産品や体験イベント企画など事業として一定の評価ができると思います。ただ、現在の評価基準では適切な目標値が設定しにくいですし、実績も図りにくいと思いますので、改善を望みます。
		効	B	
		必	C	
		明	B	
－	B	達	B	活動はあちこちで目にしております。若者の活動は明るい未来を感じます。
		効	B	
		必	B	
		明	B	

令和８年１０月２２日
Ｒ８④総合計画推進委員会
資料２

令和8年度瑞浪市総合計画推進委員会　事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
２．魅力あふれるまちづくり	地域魅力発信事業	シティプロモーション課

１次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（人）	実績値（人）
C	本市への移住者数	170	93

２次評価

委員会総合評価
C

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
–	B	達	C	目標値実績の数値からでも分かるように、良い情報発信をしていても「定住」という最終結果にまで結びつきにくい現状であるので、単に情報を届ける行為から、ターゲティングをより細分化し、「どのような層が瑞浪市を選びやすいのか」データ分析に基づく効果的な広報手段、誘導動線へ進化させていくのも必要と思います。 例えば、人口減少に歯止めを掛ける為の一助として、「移住」にこだわらず市内市外問わず若年層が家を建てたら全ての人に助成か補助して人口増加を目指す。
		効	B	
		必	A	
		明	B	
–	C	達	C	当事業は、瑞浪市の認知度向上や地域資源のPRに一定の成果を上げており、事業の必要性は高いと評価できます。特にSNSやデジタル媒体を活用した情報発信は、比較的少ない経費で広範囲への周知が可能であり、効率的な取組となっていると思います。一方で、情報発信そのものが目的化することなく、観光誘客、関係人口の創出、移住・定住促進などの成果につながっているかを検証することが重要であると思います。今後はターゲットを明確にした情報発信を推進するとともに、アクセス分析やアンケート調査等を活用して効果検証を行い、費用対効果を踏まえた事業展開を期待します。
		効	B	
		必	B	
		明	C	
–	C	達	C	瑞浪市は、シティプロモーションにとても力を入れ関係人口創出に向けて積極的に取り組んでいる市です。今後は、対象となる人たちを明確にしたうえで、情報発信に取り組んでいただくことに期待します。一方で、移住フェアなどは、ある程度移住に関心がある人たちが集まる場であると思われますので、今後は、そもそも移住や関係人口にまつわる活動に関心が低い人たちに働きかけることで、ターゲットとなる層を広げる工夫も必要でないでしょうか。
		効	B	
		必	B	
		明	C	
–	C	達	C	瑞浪市に限らず、東濃地区の人口減少は頭を悩ませる課題だと感じます。 ポータルサイトへの誘因、SNSを使った広報、移住フェアへの参加などどれも一定の効果はあるように感じますが、特に子育て世代に向けて、他市も取り組んでいる内容ではなく、「瑞浪市ならでは」の魅力を生み出すことが必要かと考えます。土岐市ではなく瑞浪に、多治見ではなく瑞浪に、春日井市ではなく瑞浪に移住するメリット、魅力の創出先で、その魅力をポータルサイト等で打ち出していくことが望ましいと考えます。
		効	C	
		必	A	
		明	C	
–	B	達	C	目標値は下回ったものの前年度実績を上回り東濃５市でも人口比での対人口比での移住（転入者－転出者）減少率は低い方でもあることから一定の実績は残したものと判断します。投入コストが減少するなか実績は増加していて効率性も認められ、人口維持の観点で必要性もあるものと思われます。事業内容から市民の理解も得やすいものと判断します。
		効	B	
		必	B	
		明	B	

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
–	C	達	C	この事業の必要性ということで言えばかなり高い必要性はあると思います。瑞浪市は他市と比べて出身の有名人とか偉人が少ないという感じがします。観光大使（向井亜紀さんたち）にしても無理無理なってもらっている感がぬぐい切れない。市民の人脈で有名人を観光大使にすることを考えてみてはいかがでしょうか？また、本当に瑞浪市出身者に映画監督であったり俳優であったりする人がいないのか、もう一度発掘していただきたいです。
		効	B	
		必	B	
		明	C	
–	C	達	C	移住者数向上にはターゲットの明確化が必要である。ゆかりのある層か完全新規層かを絞り、効果的なPRを展開すべきである。また、住居や子育て支援に加え、就労や起業支援などの雇用施策の充実も不可欠である。
		効	C	
		必	A	
		明	C	
–	C	達	C	人口減少の中で一定の効果は出ていると思います。ただ、移住するとなると、まず考えるのは仕事のことだと思います。また、どのような観点から生活しやすい、子育てしやすいと言えるのかについても突き詰めて考える必要があると思います。どこが魅力か、そうでない部分はどう補うことができるのかを考えて事業を行う必要があると思います。
		効	C	
		必	C	
		明	B	
–	B	達	C	移住者の希望をリサーチしてどんどんアピールしてほしい。 子育てに注目（３高校の生徒さんにアンケートとか…）
		効	B	
		必	A	
		明	C	

令和８年１０月２２日
Ｒ８④総合計画推進委員会
資料２

令和8年度瑞浪市総合計画推進委員会　事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
２．魅力あふれるまちづくり	瑞浪駅周辺再開発事業（駅北地区）	シティプロジェクト推進課

１次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（件）	実績値（件）
A	適切な時期の履行	1	1

２次評価

委員会総合評価
B

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	A	達	A	今後は工事の遅延や大幅なコスト増加を防ぐプロセス管理をして行く段階に入っていくと思います。 ハード整備の着実な進行とあわせ、完成後の施設が市民に愛され、持続的に賑わいを生み出すようなソフト施策・運営体制の検討も平行して進めるのも大切と思います。
		効	B	
		必	A	
		明	B	
－	B	達	B	当事業は、駅前の都市機能再編やにぎわい創出の観点から必要性は高く、瑞浪市の将来の中心市街地形成を左右する重要事業であると思います。一方で、事業費の増加や用地取得コストに対する市民の関心は高く、費用対効果や交流人口増加などの成果指標を明確にしながら事業を推進することが望まれます。再開発そのものが目的ではなく、「再開発後にどれだけ人を呼び込み、住み続けてもらえるまちになるか」が重要であると思います。今後は事業進捗だけでなく、居住人口、来街者数、税収効果など成果指標による検証を行い、市民に分かりやすく公表していくことが必要であると思います。
		効	B	
		必	B	
		明	B	
－	A	達	A	市民に対して丁寧に説明をするとともに、市民にとって有意義で行きたくなる施設となることを期待します。あわせて、市の魅力として市民が誇りを持てる場所になることを期待します。
		効	B	
		必	A	
		明	B	
－	A	達	A	駅周辺の再開発は、市の窓口であり、市の顔ともなる大事業であるため、鉄道利用者のみではなく、人が集まる場所に変わっていくことに期待しています。
		効	A	
		必	A	
		明	B	
－	B	達	B	事業目的の達成度を測る指標として設定した目標指標に違和感があり次年度は再検討を期待します。効率性について検討するデータがなく評価がしずらい。瑞浪市の維持発展を考慮すれば必要な内容と思われ、事業内容から市民の理解は得やすいものと判断します。
		効	C	
		必	B	
		明	B	

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	A	達	A	水野市長肝いりの事業だと思うし、瑞浪市にとって必要なものなので、しっかりと継続していただきたいです。
		効	A	
		必	A	
		明	A	
－	A	達	A	計画通り遅滞なく進められているため評価できる。今後は進捗状況の定期発信で期待感を高めるとともに、完成後の具体的な利活用像を描くことで、市への愛着向上や人口の増加・定着へとつなげてもらいたい。
		効	A	
		必	A	
		明	B	
－	B	達	B	工事費の高騰に対する対応も考えられているということで安心しました。駅の近くに公共施設ができると、とても便利ですし、瑞浪市の魅力につながると思います。ただ、この計画について、どんな施設ができるのか、どんなことが前と違うのか、情報発信が足りていないのではと思います。
		効	B	
		必	A	
		明	B	
－	A	達	B	「未来の子どもたちに渡せるまち」 すばらしい目標に向かって進めていただきたい。 コスト対策が課題。
		効	A	
		必	A	
		明	A	

令和８年１０月２２日
Ｒ８④総合計画推進委員会
資料２

令和8年度瑞浪市総合計画推進委員会　事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
３．生涯活躍のまちづくり	老人憩いの家管理経費（指定管理）	高齢福祉課

１次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（人）	実績値（人）
C	利用者数（延べ人数）	9,500	6,423

２次評価

委員会総合評価
C

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	C	達	C	利用者の減少・施設の老朽化・光熱水費等の維持管理コストの増大などの解決の為、他施設との統合・再編や複合化を含めた「施設のあり方の見直し」の検討を要する時期と思います。
		効	C	
		必	B	
		明	B	
－	C	達	C	当事業は、高齢者の交流や生きがいづくりを支える地域福祉施設として一定の役割を果たしていると思います。一方で、利用者の固定化や施設の老朽化、利用ニーズの変化への対応が課題になるかと思います。今後は利用者ニーズの変化や高齢化の進展を踏まえ、健康づくり事業や介護予防活動との連携を強化し、施設利用の活性化を図る必要があると思います。また、利用実績や事業効果を定量的に把握し、指定管理の効果検証を進めることを期待します。
		効	C	
		必	B	
		明	C	
－	C	達	C	老人憩いの家は、高齢者が集い、地域や社会とつながりを持つ大切な役割を果たしていると施設であると思います。今後は、対象年齢の見直しを含めて、現在の高齢者の実態やニーズに適した運用を期待します。
		効	C	
		必	B	
		明	B	
－	B	達	B	健康で元気な高齢者の皆様がいきいきと活動されている様子が伺えました。幼稚園児や小学生などとの交流の機会を設け、異年齢交流、世代交流などができると、昔ながらのあそびや工作などwin winの関係性が作られるのではないでしょうか。ぜひ教育という側面を加えてみてほしいです。
		効	B	
		必	B	
		明	B	
－	C	達	C	目標値はした回ったものの対象となる利用者人口の推移を考慮すると一定の評価はできると思います。なお、目標値の検討にあたっては、対象者の人口推移・就業年齢の高齢化等を踏まえて検討する必要があるものと思われます。投入コストの推移と実績の推移を踏まえると効率性の検討も必要と思われます。高齢者の生き甲斐・介護予防等の観点からその必要性は認められ、事業内容も分かり易く市民の理解を得やすいものと判断します。
		効	C	
		必	B	
		明	B	

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	C	達	C	年代によって希望するレクリエーション等の種類が違うこともあるので、現場での調査も含めて利用する都度アンケートを利用者（または家族）に実施して欲しいと思います。男性の利用者が比較的少ないということで、健康マージャンであったり、卓球であったりあまりお金のかからない種目をやってみるのも良いのでは？
		効	C	
		必	C	
		明	C	
－	B	達	C	目標は未達であるものの、事業の取り組み評価できる。 一方で、現在の対象年齢である60歳以上には、就労や社会活動などで活発に活動している方も多く、福祉施設の利用につながりにくい状況が考えられる。実態に即した目標や評価指標の設定についても見直していただきたい。
		効	B	
		必	B	
		明	B	
－	C	達	C	交通の便を考えて憩いの場所を設定した方がいいように思います。「老人憩いの家」と言われると、老人扱いされているようで行きたくないという雰囲気があるのではないでしょうか。カフェのような場所に自然に集まれる感じであればいいと思います。
		効	C	
		必	C	
		明	C	
－	C	達	C	老人憩いの場と児童館を合わせた施設になると、温かい交流ができそうです。
		効	B	
		必	B	
		明	C	

令和８年１０月２２日
Ｒ８④総合計画推進委員会
資料２

令和8年度瑞浪市総合計画推進委員会　事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
３．生涯活躍のまちづくり	東濃中部病院事務組合負担事業（病院事業）	健康づくり課

１次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（ ）	実績値（ ）
-	-	-	-

２次評価

委員会総合評価
B

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	A	達	A	市民生活において最重要基盤事業であり、広域連携のもと土岐市との負担金拠出を通じて医療体制の充実を図っている点は高い評価ですので、今後は人材確保(医師・看護師)のバックアップ体制の維持継続を強く希望致します。 診療所(R8.10.1)での公立東濃中部医療センターへ行く高齢者等の待合解放には、歓迎しますとともに他の停留所においても同様の対応をお願い致します。
		効	B	
		必	A	
		明	B	
－	B	達	B	当事業は、市民の生命を守るために不可欠な事業であり、その必要性は非常に高い。病院統合により高度医療や救急医療体制の充実が図られている点は高く評価できます。一方で多額の公費負担に対する成果が市民に十分に見えにくいところがあります。患者数や病床利用率、市民利用率などの具体的な成果指標を継続的に検証し、費用対効果を明確にしていく必要があると思います。また、医師・看護師不足も懸念されるため、今後はより効率的な病院運営に期待します。
		効	B	
		必	A	
		明	C	
－	B	達	B	地域医療を支える重要な拠点であることから、市民が安心して暮らせるためにも多様で充実した医療体制の確立に期待します。そのためにも、県内外の大学等の教育機関との連携を図り人材確保にも注力されていただきたいと思います。
		効	B	
		必	A	
		明	B	
－	A	達	A	移転に伴い、診療所待合や医師・看護師確保など課題は見受けられるが、その都度必要なことをきちんと整理し、対策を取られている。 医療は住民の生活にとって大切な項目のため、今後も柔軟に、スピーディに課題に向き合ってください。
		効	A	
		必	A	
		明	A	
－	B	達	C	目標値の設定がなく達成状況の評価はしずらいが、これまで対応できていなかった小児対応や東濃圏外の搬送患者受け入れ等効率性・必要性は認められ、事業内容から市民の理解も得やすいものと判断します。なお、次年度は目標値の設定（定量面が難しいなら、定性面でも）を期待します。
		効	B	
		必	B	
		明	B	

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	A	達	A	こういう病院の最も大きな課題は医師の確保であると考えます。名大系の医師確保にご尽力いただいているということですので、期待したいところです。「東濃中部医療センター」の持つ大きな役割は、これからさらに発揮されてくると思います。人間ドック予約させていただきました。
		効	A	
		必	A	
		明	A	
－	A	達	A	目標指標がないため評価が難しいが、開業後は、地域医療を堅持しつつ黒字化を図り、あわせて医師や医療スタッフの確保に努められることを期待したい。
		効	B	
		必	A	
		明	B	
－	A	達	B	医師等の人材確保ができており、また将来を見据えて奨学金制度による支援を実施されているとのことで、評価できると思います。人口減少が進む中で、将来的には不安な部分もありますが、安心して医療が受けられる状態を維持していくために頑張っていただきたいです。
		効	B	
		必	A	
		明	A	
－	C	達	D	始まったばかりで、評価しづらい。 医師・看護師の確保に期待します。
		効	C	
		必	A	
		明	C	

令和8年度瑞浪市総合計画推進委員会　事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
４．活気みなぎるまちづくり	中小企業販路開拓支援事業	商工観光課

１次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（社）	実績値（社）
C	参加企業	70	39

２次評価

委員会総合評価
C

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	B	達	C	展示会・見本市への出展するのが目的であって「成約」の報告(出展後2回)はされるものの「継続的な取引拡大」にまで結びついているのかの検証も必要と感じます。 展示会・見本市経費の補助(1小間30万円、2小間迄)と新商品開発に要する経費の補助(1社上限10万円)　二本立てとされているが、それぞれの上限額の見直し(年間総予算額の見直し)も必要と感じます。
		効	B	
		必	A	
		明	B	
－	C	達	C	当事業は、中小企業を取り巻く経営環境が厳しさを増す中、販路拡大支援は地域産業の維持発展に不可欠である。今後は補助金による支援だけでなく、専門家による伴走支援やデジタルマーケティング支援を組み合わせることで、より高い成果が期待できると思います。また、商談成立件数や売上増加額などの成果指標を設定し、事業効果を見える化することが望まれます。結果として、市内企業の競争力向上と地域経済の持続的発展につながることを期待します。
		効	B	
		必	B	
		明	C	
－	C	達	C	市内のより多くの事業者が、支援を受けながら事業を展開できるように商工会議所等と連携しながら推進されることを期待します。出展事業以外で、市内事業者が販路拡大等を図れるような新たな方策に期待します。
		効	B	
		必	B	
		明	C	
－	C	達	C	みずなみ焼等販路開拓支援から中小企業販路開拓支援と守備範囲を広げたが、目標値実績の数値が上がらなかったことが残念。例年の展示会・見本市などのイベント以外の方法（オンラインショッピングへの出店、ふるさと納税との連携支援など）も検討し、みずなみ焼販路開拓支援事業とは別の事業として再構築されてもいいかもしれません。
		効	C	
		必	B	
		明	C	
－	C	達	C	目標値を大きく下回り続けておりＰＤＣＡを回していく必要があると思われ、今年度から新商品開発等の支援を開始したとのことも具体的な成果もなく効率性にも疑問が残る。地域の中小企業支援としてその必要性は認められ、事業内容も分かり易く市民の理解を得やすいものと判断します。
		効	C	
		必	B	
		明	B	

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	C	達	C	こういうたぐいの事業は、とかく一般市民からはわかりにくいものだと思います。でも、「地場産業の活性化」をうたっているわけですから、みずなみ焼はこだわって欲しいなと思うのと、美濃焼とのコラボレーションの中でみずなみ焼をアピールしていくことが今までできなかったのかなと思います。多治見市や土岐市と協力していく中で活路を見いだせなかった理由はどこにあるのか？　　また、養蜂もすでに地場産業と言ってもいいと思います。「Camado Brewery」やボーノポークとのコラボ商品や地元の加登屋食堂のあんかけかつ丼、本店は瑞浪市じゃないにしてもあまからの五平餅とのタイアップ、瑞浪市はなかなか有名人がいないので、発掘することも大切ですが、せっかくの神谷そら選手に頼んでトーナメントでわかりやすい部分に瑞浪市の地場産業入りのポロシャツのロゴにしてもらうとか宣伝効果も考えてもらってはどうでしょう。瑞浪市で行われるプロトーナメントの試合でも優勝賞品にもっとわかりやすく提供するとか・・・・どうでしょうか？
		効	C	
		必	C	
		明	C	
－	C	達	C	参加企業の確保に向けた取り組みを継続するとともに、事業への参加が企業にとってどのような効果やメリットにつながったのかを検証し、より多くの企業が参加しやすい仕組みづくりを進めていただきたい。
		効	C	
		必	B	
		明	C	
－	C	達	C	出展での販路拡大について、参加企業が多くなくても、効果があれば続ける意味があると思います。ネットでの販路拡大をどこまで支援するかも考えるといいのでは。また、美濃焼以外の産業をどのように支援していくかも検討する必要があると思います。
		効	C	
		必	C	
		明	B	
－	C	達	C	JRのさわやかウォーキングやゴルフのイベント時、駅前でマルシェでアピールしてはいかがでしょう。
		効	C	
		必	B	
		明	C	

令和８年１０月２２日
Ｒ８④総合計画推進委員会
資料２

令和8年度瑞浪市総合計画推進委員会　事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
４．活気みなぎるまちづくり	インバウンド観光コンテンツ造成事業	商工観光課

１次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（人）	実績値（人）
A	大湫町旧森川訓行家住宅（丸森）外国人入館者数	1,000	1,265

２次評価

委員会総合評価
B

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	A	達	A	インバウンド需要の回復・拡大を見据え、外国人観光客のニーズの把握や課題抽出に早期着手した点は先導的であり、高い評価になると思います。今後は観光協会での旅行商品化(ツアー化)に期待致します。
		効	B	
		必	A	
		明	B	
－	B	達	B	当事業は、地域ならではの魅力を発掘・磨き上げる取組として意義が大きいと思います。インバウンド需要の回復が続く中、瑞浪市の認知度向上と交流人口の拡大が期待できます。今後は造成したコンテンツの販路拡大や広域連携を進めることで、より高い事業効果が見込まれます。今後は、実際に外国人観光客が利用し、地域事業者の売上増加につながったかを測定する仕組みが必要であり、利用者数や観光消費額まで踏み込んで検証されることを期待します。
		効	B	
		必	B	
		明	C	
－	B	達	A	今後さらに増加が見込めるインバウンドの誘客により、市内の経済的な活性化に期待します。インバウンドが多く訪れる大湫町のような場所に、瑞浪市の特産品などを購入できる環境を整えることで、インバウンドの人たちによる消費が期待できるのではないでしょうか。今後は、引き継いだ観光協会の発展的な取り組みに期待します。
		効	B	
		必	B	
		明	B	
－	C	達	B	瑞浪は通過地点になっている調査結果を受け、陶磁器を買うなら産業振興センター（ちゃわん屋）、地元食材を買うならきなぁた、とそれぞれあるが、旧中山道沿いを歩く外国人観光客は、わざわざそのお土産を買いに19号まで移動しない。「その場所」で買い物ができ、「その場所」で体験ができることが重要かと考えます。あそこでできるから、あそこで買えるから、ではなく、外国人観光客の足を止める方策が必要。わざわざ田舎にやってくる外国人が求めているのは「自然」「日本の伝統」「体験」などが考えられるので、焼き物体験ができるとか、地元食材を使った食事（ジビエなど）など、旧中山道沿いに整備できるといいなと感じます。
		効	C	
		必	B	
		明	C	
－	B	達	B	目標値・前年度実績を上回ったことは評価できるものの、事業化してコストを投入したこと・インバウンド増加の追い風等を踏まえれば設定した目標値について違和感があるように思われ、その効率性についてもインバウンドの当市での消費額等が不明（あまり消費されていないと思われ）で評価がしづらいです。インバウンド来市促進の必要性は認められ、事業内容も分かり易く市民の理解を得やすいものと判断します。
		効	C	
		必	B	
		明	B	

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	A	達	A	コミュニティ・バスやデマンド交通にとってもインバウンド観光客は大変重要な役割を担っているということになります。そういう意味では商工観光課と都市政策が常に連携を取って、大湫宿・細久手宿ともに観光コンテンツの新設を図る必要があると思います。馬籠・妻籠～大井・大湫間、細久手～御嶽・伏見間の整備及び魅力増強を恵那市・御嵩町とともにやってみたらどうでしょうか？
		効	A	
		必	A	
		明	A	
－	A	達	A	目標を上回る成果を上げているため、観光協会へ引き続いだ後も継続していただきたい。 今後は入館者数だけでなく、来訪時期や来訪のきっかけなど、来訪者の動向についても調査・分析し、瑞浪市が単なる通過点ではなく、目的地として選ばれるよう取り組んでいただきたい。
		効	B	
		必	B	
		明	A	
－	B	達	A	観光資源に乏しく、インバウンドは難しいですが、ゴルフ場も多いですし、近隣県などからの観光促進ができるといいと思います。
		効	B	
		必	C	
		明	C	
－	C	達	B	瑞浪ならではの体験を充実させた企画（田舎…米作りで半年滞在）など、他市とは違うアピールに目を向けたい。 ・日吉の歌舞伎体験 ・バサラの練習と大会参加
		効	C	
		必	B	
		明	C	

令和８年１０月２２日
Ｒ８④総合計画推進委員会
資料２

令和8年度瑞浪市総合計画推進委員会　事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
４．活気みなぎるまちづくり	農産物等直売所管理経費（指定管理）	農林課

１次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（人）	実績値（人）
A	年間来場者数	504,000	524,613

２次評価

委員会総合評価
A

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	A	達	A	運営、集客ともに順調に推移している事業である。 これまでの優れた運営実績を継続しつつ、今後は施設老朽化への対応、保守点検を計画的に行い、安全・快適な環境を維持することが必要かと。 今後も右肩上がりが予想される事により、「利益の何%は配当します。」等明文化するのも必要と思います。
		効	A	
		必	A	
		明	A	
－	B	達	B	当事業は、地域の農業振興と地産地消の推進に寄与する事業であり、継続実施の意義は高いと評価できます。今後は売上や来場者数だけでなく、生産者確保や地域経済への波及効果を定量的に検証し、指定管理者の自主的な経営改善を促すことが必要であると思います。人口減少や農業者の高齢化が進む中、従来型の運営だけでは将来的な発展は難しく、観光誘客戦略や広域的な販路開拓等積極的な取り組みに期待します。
		効	C	
		必	B	
		明	B	
－	A	達	A	きなぁた瑞浪は、市内外で認知度の高い施設となっていると見受けられます。これも指定管理者の方々の改善と工夫により、着実に来場者数が増加しており、瑞浪市の交流の拠点になっていると思います。今後は、観光ツアーとの連携も視野に入れながら、観光分野との連携が進み、瑞浪市を訪れる人たちが増えることを期待します。
		効	A	
		必	B	
		明	B	
－	A	達	A	きなぁた瑞浪は、市民にとって活用頻度が高く、生活の中にきちんと入りこんだように感じます。今後の活動として、他市、他県からの集客をどのように展開していくのかかと感じます。体験農園など魅力的な取り組みをされているので、具体的改善内容に挙げられたように観光分野との連携に期待します。
		効	B	
		必	A	
		明	A	
－	B	達	A	目標値は上回ったものの、指定管理料の増加率に対して目標値実績の増加率は下回っており効率性には課題を残したと思われます。地域の農業振興及び観光拠点としての必要性は認められ、事業内容も分かり易く市民の理解を得やすいものと判断します。
		効	C	
		必	B	
		明	B	

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	A	達	A	目標に対しての実績という点ではクリアできていますが、将来的にどう維持をしていくかを考えなければならないと思います。第三セクターとしての経営で自由度が低くなるかもしれませんが、イベント会場としての「きなぁた瑞浪」へ発展させていく、あるいは湯の華アイランドのような集客力のある施設を作っていくことも考える必要があるのではないでしょうか？
		効	A	
		必	A	
		明	A	
－	A	達	A	来場者数・売上ともに目標を達成しており評価できる。地域での認知度も高まっているが、BBQ施設以外の特色ある事業展開も図り、更なる集客の安定化・定着化に期待したい。
		効	A	
		必	A	
		明	A	
－	B	達	B	来場数も堅調で、売り上げも伸びているとのことで評価できると考えます。バーベキュー施設も軌道に乗ったようでよかったです。将来の農業の担い手育成については、時間がかかることと思いますので、スピードアップした対応が必要と思います。
		効	B	
		必	A	
		明	B	
－	A	達	B	引き続き、瑞浪のオアシスとして、人をひき集める場所となってほしい。
		効	B	
		必	A	
		明	A	

令和８年１０月２２日
Ｒ８④総合計画推進委員会
資料２

令和8年度瑞浪市総合計画推進委員会　事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
５．持続可能なまちづくり	デマンド型交通運行事業	商工観光課

１次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（回/千人）	実績値（回/千人）
B	デマンド交通の人口千人あたりの年間利用回数	57	53

２次評価

委員会総合評価
C

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	B	達	B	乗降データ分析に基づき、不採算ルートの再編・デマンド交通の利便性向上・車両サイズの最適化(小型化)を含めた運行計画の見直しを行い、効率性と持続可能性を高め継続すべき項目と思います。 デマンド交通において予約システムの仕方・方法を高齢者等によりわかりやすく開示(説明)するのも必要と感じます。
		効	C	
		必	A	
		明	B	
－	C	達	C	当事業は、人口減少や高齢化が進む地域において、市民の生活を支える重要な公共サービスであると思います。特に通院や買い物など日常生活に必要な移動を確保する効果は大きく、事業の必要性は非常に高いと思います。一方で、事前登録や予約手続きが必要であるため、高齢者にとって利用のハードルが依然として高く、制度があっても利用につながらない場合もあります。また、利用者の固定化や運行コストの増大が懸念されます。運行ルートや停留所の見直し、デジタル技術の活用などの検討も行うとともに、利用実績や利用者満足度を継続的に分析し、効率性と利便性の両立を図ることが重要であると思います。
		効	C	
		必	B	
		明	C	
－	B	達	B	地域における公共交通は、市民の生活を支える重要なインフラであり、各地区に住む人たちのニーズを踏まえながら運用されることを期待します。主に高齢者の方々が利用対象であるとは思いますが、通勤通学・習い事等のために利用する世代のニーズも適切に把握していただきたいと思います。また、地域のインフラと言える公共交通を担当する部署として、商工観光課が適切であるか、今一度検討いただく必要があると考えます。
		効	B	
		必	A	
		明	B	
－	C	達	B	高齢化と人口減少により買い物難民が生まれ、限界集落にさせないために公共交通機関は住民にとって必要な要素であるが、コミュニティバスよりも手軽に使われていないという結果が出てしまった。利用方法が分からないことや日常の買い物をするために事前予約をしなくてはいけない煩雑さなどが想像されるので、出張乗り方教室に期待したいです。
		効	C	
		必	C	
		明	C	
－	C	達	B	目標値は下回ったものの前年度より実績は上回っており一定の評価はできます。一方で稼働率が低く効率性・必要性については否定的に見ざるをえないと思われます。事業内容は分かり易く市民の理解を得やすいものと判断します。
		効	C	
		必	C	
		明	B	

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	B	達	B	大宮会長が言われたように商工観光課ではなく、都市政策課などの担当課としていただいた方がよろしいかと思います。改善がみられるので継続していただいた方が良いと思うが、インバウンド需要はどこに表れているのか？東濃地域としては中山道は瑞浪市で終わりなわけですから、恵那市や御嵩町との協力で移動ルートの開発や宿場町の賑わいを復活させていく方法を都市政策課も含め共同で考えるのはどうでしょうか？
		効	B	
		必	C	
		明	B	
－	C	達	C	利用者数・利用回数ともに増加しており、事業の必要性が高いことがうかがえるため、これまでの取り組みを評価したい。 今後は、利用を希望する方のニーズをより丁寧に把握し、利用者に寄り添った運行内容やサービスのあり方を検討することで、さらなる利用者の増加につなげていただきたい。
		効	C	
		必	B	
		明	C	
－	C	達	C	使い勝手がよくないということだろうと思います。タクシー利用に際し、一定の対象者を援助する方向に転換することも検討した方がいいように思います。
		効	C	
		必	C	
		明	C	
－	C	達	C	年配の方だけではなく、学生の通学、社会人の通勤にも使えると利用者にとっても便利な交通手段となり得るのではないでしょうか。
		効	C	
		必	A	
		明	C	

令和８年１０月２２日
Ｒ８④総合計画推進委員会
資料２

令和8年度瑞浪市総合計画推進委員会　事業評価シートとりまとめ表

まちづくりの基本方針	事業名	担当課
５．持続可能なまちづくり	エネルギー利用最適化事業	環境課

１次評価（担当課評価）

達成度評価	目標指標	目標値（件）	実績値（件）
D	補助件数	70	31

２次評価

委員会総合評価
C

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	C	達	D	実績件数が目標を大きく下回っており、市民の導入意欲を十分引き出せていないのが考えられるので、「補助上限額の見直し」や「対象機器の拡充」(高額費用である為・見直し)の必要性があると思います。
		効	C	
		必	A	
		明	B	
－	C	達	C	当事業は、脱炭素化や防災対策に資する施策としての方向性は妥当であり、再生可能エネルギー設備の普及促進に一定の成果が認められます。一方で蓄電池やV2H等の導入支援を行っているが、対象となるのは主に住宅所有者であり、事業効果を享受できる市民が限定的であると思われます。また、補助金交付件数は把握できるものの、CO_2削減量、電気料金削減効果、災害時の活用実績などの成果指標が見えにくく、公費投入に見合う効果を客観的に評価しにくいところがあります。設備導入には高額な自己負担が必要であり、補助金が設備普及の決定的な後押しになっているかは検証の余地があると思います。
		効	C	
		必	C	
		明	C	
－	C	達	C	今後、電気自動車の普及や災害時の備えとしての太陽光発電・蓄電池等に対するニーズの高まりが見込まれる中で、設備設置の支援は重要な取り組みであると考えます。一方で、再生可能エネルギーにまつわる社会情勢の変化を踏まえたうえで、環境や脱炭素社会に関する市民の理解と認識を深めるための取り組みも、並行して重要なことであると考えます。
		効	B	
		必	B	
		明	C	
－	D	達	C	環境のために再生可能エネルギーシステムを導入しようと考える庶民はあまりいないと思います。EV自動車に買い替える人も、補助金がこれだけ出るならという部分が大きく、導入の大半が実費で少し補助金で帰ってきた、という具合では「よし！導入しよう」とは考えないと感じる。近年、市内で導入した方はそもそも自身で導入しようと考えていらっしゃった方なのではないでしょうか。事業目的にある、地球温暖化対策、市民の日常生活における新エネルギーの利用を「促進」させるのであれば補助金の増額等を検討する必要があるように感じます。
		効	D	
		必	C	
		明	C	
－	C	達	C	目標値は大きく下回ったもののそもそもの設定指標に違和感（過去からの連続性・目標値の設定基準）があり次年度は再検討を期待します。投入コスト減少比に対して対象人数・件数実績減少比は上回っており効率性は認められます。事業内容事態は推進すべきものと思われますが、市が事業費を投入しないといけないものなのかとも思われます。事業内容は市民の理解も得やすいものと判断します。
		効	B	
		必	C	
		明	B	

委員名	個人総合評価	項目別評価		意見・コメント
－	C	達	D	決して悪いことではないので、件数の数え方を検討するなどしていただければと思います。
		効	C	
		必	B	
		明	C	
－	C	達	C	補助制度の制限や自己負担の重さから利用が進んでおらず、現行の目標値は高すぎると見受けられる。事業の実効性を高めるため、実態に即した目標数の見直しが必要と感じる。
		効	C	
		必	C	
		明	C	
－	C	達	D	目標値の基準を再検討する必要があると思います。値段がもっと安くならない限り、補助金を出しても推進は難しいと思います。太陽光などには環境破壊の側面もありますので、ルールづくりなど推進とのバランスを図る必要があると思います。
		効	C	
		必	C	
		明	B	
－	D	達	D	継続して行ってほしい。
		効	C	
		必	C	
		明	C	